

華やか よさこいソーラン大競演会

第28回病院まつり にぎわう



厳しい暑さの中、躍動感あふれる舞を披露する出場チーム

総合南東北病院の「第28回病院まつり」は8月18日(日)午前10時から、郡山市八山田の同病院の立体駐車場2階で開かれ、南東北グループの職員による「よさこいソーラン大競演会」などが行われ、来場者を楽しませました。実行委員会の主催。

10回目となる「よさこいソーラン大競演会」には、北は青森、南は神奈川から過去最多の20チーム約400人が出場しました。この日のため練習を重ねてきた各チームはお揃いの衣装を身にまとい、夏の太陽が照りつける中、華やかで躍動感あふれる舞を繰り広げました。



深谷院長(右)の説明を受ける根本厚労相

根本厚労相(衆院本県2区)は医療・福祉の現況視察のため8月24日(土)、出身地でもある郡山市を訪れ、南東北医療クリニックなど南東北グループの関連施設を見まわりました。

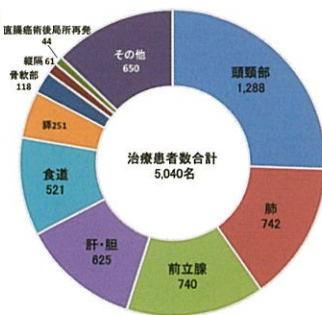
根本厚労相が現地視察 南東北医療クリニックなど

人による審査の結果、泉崎チーム(泉崎南東北リハビリテーション・ケアセンター)が初優勝。昨年優勝の岩沼チーム(岩沼・総合南東北病院)が準優勝、東京チーム(総合東京病院)と初出場の世田谷チーム(東京リハビリテーションセンター世田谷)が同点で3位となりました。よさこいソーラン終了後は仙台を拠点に活動する「ニードル」のお笑いライブ、「仮面ライダージオウ」ショー、バルーンアート教室、お楽しみ大抽選会などが行われました。

会場には飲み物や焼きそば、かき氷、たこ焼きなどの模擬店、子どもが楽しめる抽選くじ、ボールすくい、ぬり絵などのコーナーが設けられ、家族連れなどで終日にぎわいました。

午後2時に同クリニックに到着した根本厚労相は深谷保男院長、(二財)脳神経疾患研究所の渡邊文博常務理事、窪陸子看護部局長らの出迎えを受けました。深谷院長から施設概要などの説明を受け院内を見た後、今春開院した南東北創薬・サイクロトロン研究センターを視察しました。さらに回復期リハビリテーションを行っている南東北第二病院、介護・福祉施設の総合南東北福祉センター八山田を訪ね、医療・介護・福祉と切れ目ないサービスを提供している南東北グループの取り組みに理解を深めました。福社センター八山田では渡邊一夫理事長とも懇談しました。

陽子線治療実績 2019年8月末まで (2008年10月開院以降)



がん陽子線治療センター HPはこちら



当院の目標

- 患者さんに公正な医療を提供します。
- 医師による説明と、患者さんの選択に基づく医療を進めます。
- 患者さんのプライバシーを尊重します。
- 診療情報を患者さん自身にお伝えします。
- より良い医療が行われるよう研修・研鑽いたします。
- 患者さんの人生が最後まで豊かであるようにその意思を尊重します。